



中 田 小

令和5年10月31日

学 校 教 育 目 標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい
共に生きる力を育てます。

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

「運動を多様に楽しむ」

副校長 石井 晃

シン・運動会へのご参観ありがとうございました。今年は参観者の制限をなくしたくさんの方に子どもたちの一生懸命な姿をご覧いただくことができました。参観された方の声援は昨年にも増して熱いものになり、子どもたちも大きな満足感をもって運動会を終えることができました。ご協力本当にありがとうございました。

子どもたちは、運動会当日だけでなく本番に向けての取組の中でも夢中になって準備を進めてきたように思います。リレー練習ではバトンパスの技能を高めたり、応援団は、自分たちの応援でチームや選手の士気や意欲が高まることを自覚し、練習に全力で取りくんだりしていました。各学年の演技や競技でも、子どもたちは運動会の練習を夢中になって楽しんでいる様子を多く目にしました。運動会マスコットキャラクターへ作品を応募した子どもたちは、運動会を盛り上げるために自分なりの楽しみ方や関わり方をしているなど感じます。小学校学習指導要領にも、「・・・生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す」とあります。従来よりも「運動やスポーツの多様な楽しみ方や関わり方を共有する」という指針が明文化されました。つまり、「できる」「できない」だけではないスポーツの楽しみ方を子どもたちに感じてもらうことの大切さが示されています。運動会では勝敗が決まりますし、徒競走やリレーでは順位が示されます。でも、その結果を受けても、今年の運動会へ向けての様々な取組を通して、仲間と協力することや運動することの楽しさや喜びを子どもたち一人ひとりが実感してくれたらと思います。さらに、子どもたちには、体育の授業や運動会だけでなく、地域行事や様々なスポーツイベントを通して、「すること」だけでなく「みること」、「支えること」、「知ること」など、自分の適性に応じて、運動やスポーツとの多様な関わりについて考え、生涯にわたる豊かなスポーツライフにつなげてほしいと思います。

適度な運動を続けることで、体が疲れにくくなることは日常生活を送る上ではよいことですし、体を動かすことは脳の発達や心の健康につながるということが実証されているそうです。また、運動の実施頻度が多い人ほど、日常生活に充実感を感じている割合が高い調査結果も出ているそうです。体を動かすということは、人間の本源的な欲求といえるもので、楽しさや喜びをもたらす、運動を通じて自らの可能性を広げたり、仲間との交流やコミュニケーションを深めたりすることになり、生活の質を高かめ、人生をより豊かにしてくれるのではないのでしょうか。